

第5回 室蘭工業大学テクノカフェ

～縄文時代のものづくり～



「渦巻き模様のついた狩猟用の鏝」
有珠モシリ遺跡出土 約2000年前【重要文化財】
写真提供：伊達市噴火湾文化研究所

第5回テクノカフェ

日時

2008年11月1日(土)13:30開場、14:00開演、15:30終了予定

場所

室蘭市市民会館中会議室(室蘭市輪西町2丁目5-1、0143-44-1113)

ゲスト

大島直行氏(伊達市噴火湾文化研究所所長)

聞き手

清水一道(室蘭工業大学ものづくり基盤センター准教授)

テーマ

縄文時代のものづくり

参加費

無料

募集人員

約50名

申込方法

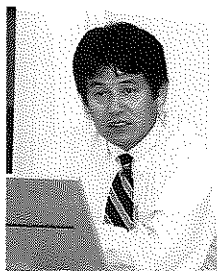
北海道新聞室蘭支社にお電話で
お問い合わせください

事前にお申込みください

0143-22-5163



▼Guest — ゲストのプロフィール



大島 直行 (おおしま・なおゆき) 氏

伊達市噴火湾文化研究所長。医学博士。1950年、釧路管内標茶町生まれ。東洋大学文学部史学科を卒業後、札幌医科大学研究生となり、人類学、解剖学を学ぶ。75年、千歳市職員。新千歳空港用地内の遺跡発掘調査に携わる。78年から札幌医科大学の助手を務め、人類学、考古学の研究を継続。95年より伊達市職員として史跡・北黄金貝塚の整備、遺跡調査など文化財啓発事業を積極的に進める。伊達市教育委員会主幹、文化課長、カルチャーセンター館長、文化財課長を経て2005年より現職。市の職員として文化財保護行政に携わる一方で、札幌医科大学ほか全国の大学で非常勤講師として学生の教育・指導に力を注ぐ。本年5月に日本考古学協会の理事に就任。日本人類学会評議員、北海道アイヌ民族文化研究センター運営協議会委員、北海道文化財保護協会理事などの要職を務め、全国各地で講演活動を行っている。58歳。



室蘭工業大学テクノカフェとは・・・

テーマはものづくり。社会の第一線で「ものづくり」に取り組んでいる人のお話を聞きます。芸術や食品製造など、多岐にわたる「ものづくり」について一緒に考えてみませんか？どなたでも参加できます。

今年度は室蘭工業大学ものづくり基盤センターと、「ひと・ものプロジェクト」として室蘭工業大学と提携・協力する北海道新聞室蘭支社がお送りします。

【室蘭工業大学ものづくり基盤センター】

ものづくりに関わる実践的な教育、先端加工技術の研究、ものづくりを通じた地域との交流を目的として室蘭工大内に設置され、シンポジウムやフォーラム、テクノカフェなどを通して地域密着型の活動を積極的に実施しています。愛称「クレモ」は「クリエート（創造する）」と「ものづくり」にちなんで付けられました。

URL <http://www.muroran-it.ac.jp/cremo/>

室蘭工業大学ものづくり基盤センター

〒050-8585 室蘭市水元町27-1 ☎0143-46-5398

北海道新聞室蘭支社

〒051-0016 室蘭市幸町5-6 ☎0143-22-5163